



幼稚園だより 6月号

令和6年5月31日

中央区立豊海幼稚園 03 (3533) 0725

H P <http://www.chuo-kyo.ed.jp/~toyomi-kg/>

教育目標

- げんきな子
- やさしい子
- がんばれる子

<令和6年度 豊海幼稚園 重点目標について>

園長 山口 晃司

幼稚園は、幼児の自発的な活動としての遊びを十分に確保する場です。なぜならば、遊びによって幼児の主体的な力が発揮され、生きる力の基礎というべき生きる喜びを味わうことができるからです。

重点目標は、今年度の教育活動の中で、特に重点を置いて目指したいと考える具体的な目標です。令和6年度は、園内研究のテーマであり本園の特色である「身近な自然との関わり」と幼稚園教育の基本である「幼児の主体的な遊び」を推進することを目指して、「重点目標」を設定しました。

重点目標1	身近な自然との関わりを通して、幼児の知的好奇心を育む
重点目標2	心身共に健やかな幼児を育む
重点目標3	幼児のより豊かな生活体験が得られるように、幼稚園と保護者との連携を深める

今年度の教育活動がより一層充実するよう、教職員一同努めて参ります。よろしくお願いいたします。

<子どものこころは大人と育つ>

過日、4月の週末に紀伊國屋書店本店で開催された、ビジネス講座「大人と子どものこころを思う」と題する講演会に参加してきました。この講座は「子どものこころは大人と育つ～アタッチメント理論とメンタライジング」の著者・篠原郁子先生と30年以上保育・教育の現場に関わってこられた宮里暁美先生が「実際の子どもの姿でいうとどういうこと？」と質問形式でのトークセッションでした。その内容を少し紹介します。『アタッチメントが子どもに、自分自身を信じること、安心できる感覚、人や社会は信頼できるという気持ちを育む基盤になる。そして、誰かとの間でそうした気持ちを経験できた子どもは、これから続く長い人生を「何かがあってもなんとかなる」という心持ちで歩んでいけるようになる」と考える』とのこと。子どもは、自分より大きくて優しく賢い人にくっつきます。くっつくことで、安心や安全を感じ、こころの穏やかさを取り戻します。我々大人の関わりが子どものこころを育て、また我々大人自身のこころも豊かになると感じました。大人の私は、こう感じているが、子どもはどう感じているか。子どもの視点から物事を捉えたと、違う視点が見えてきます。大人の関わりを振り返ってみましょう。詳しく知りたい方は、本書をお貸ししますので、声をおかけください。

<各学年のねらいと主な活動>

年少組	年中組	年長組
○自分のやりたいことや興味をもったことをして遊ぶ楽しさを感じる。 ○教師や近くにいた友達と過ごしたり、遊んだりすることを楽しむ。 ○着替えや身の回りのことを自分なりに行おうとする。 <主な活動> ・水遊び（シャボン玉・色水） ・プール遊び ・製作「あじさい」「七夕飾り」 ・自分のクレヨンを使った製作遊び「かたつむり」「七夕飾り」 ・リズム「かえるの体操」 ・歌「かたつむり」	○気の合った友達と関わりながら、自分のやりたい遊びをしたり、思ったことを言葉や動きに出したりして、遊ぶことを楽しむ。 ○プールで自分なりの動きをしたり、いろいろな水遊びに自分から関わったりして遊ぶことを楽しむ。 ○季節に応じた過ごし方や、必要なことが分かり、自分から行う。 <主な活動> ・水遊び（シャボン玉・色水） ・プール遊び ・製作「あじさい」「七夕飾り」 ・リズム「ザブザバン」 ・歌「だからあめふり」	○自分の思いを伝えながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ○水の心地よさを感じ、水遊びやプール遊びに自分なりに取り組む楽しさを味わう。 ○季節に応じた必要なことに気づき、自分から取り組む。 <主な活動> ・水遊び（シャボン玉・色水） ・プール遊び ・製作「あじさい」「七夕飾り」 ・リズム「かえるのみどりちゃん」 ・歌「にじ」

